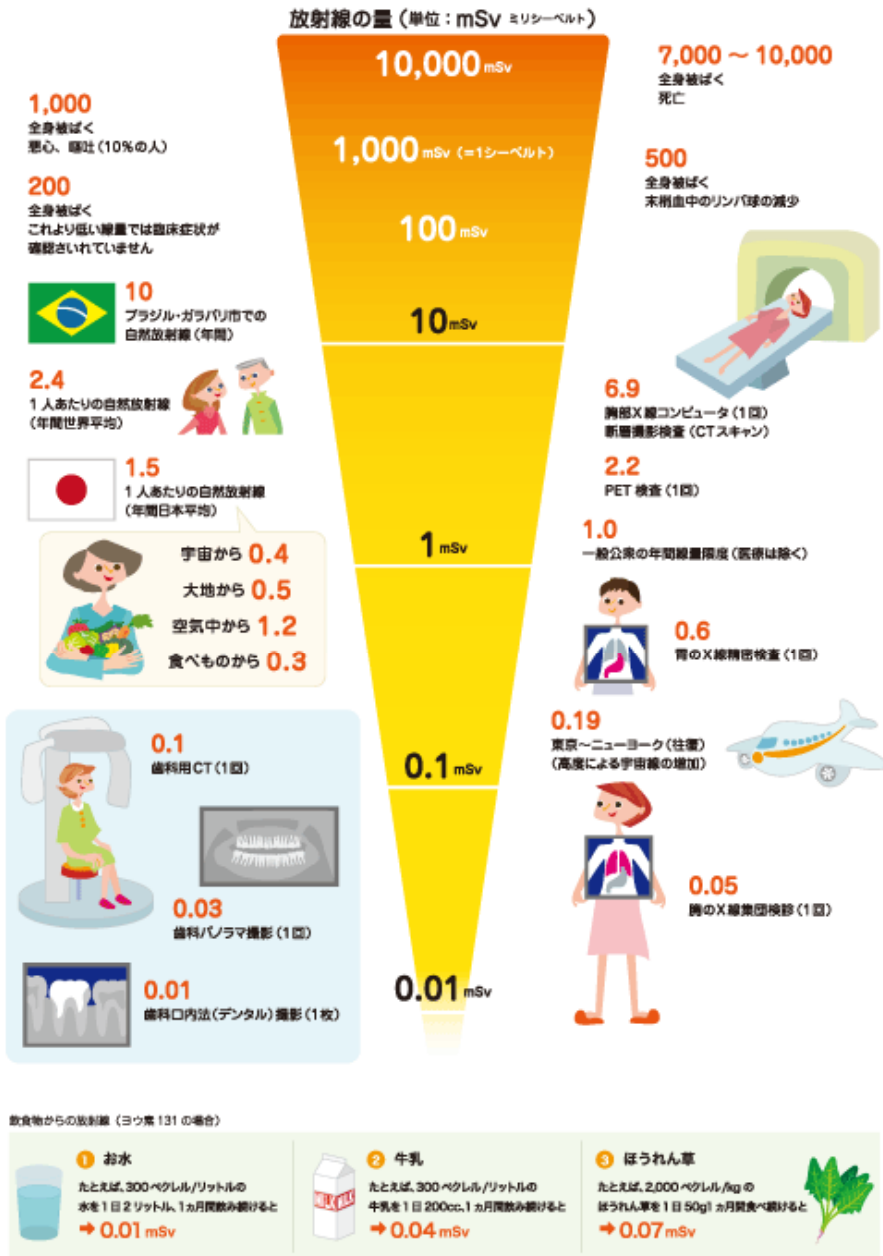




歯科のレントゲンは安全？

No.65



歯科をはじめ医療用のレントゲンはご存じのように放射線を発生します。放射線はその被ばく量が多くなると人体に悪影響を及ぼします。

歯科用のレントゲンの場合、その機種や撮影する部位にもよりますが、大きいレントゲン写真も小さいレントゲン写真も、その被ばく線量はほとんど変わりありません。しかもその線量は、集団検診で撮影する胃のレントゲン写真1枚(約4.1mSv)のおよそ100~400分の1、自然界から1年間に受ける放射線のおよそ40~100分の1程度です。このことから、**歯科医院で撮影するレントゲン写真の安全性は高いといえます。**

また、レントゲン写真を撮影する時に用いる防護エプロンには鉛が入っています。鉛はエックス線を透過しませんから、撮影時に防護エプロンを装着することによって、放射線による被曝をほぼゼロにすることができます。防護エプロン以外にも、レントゲン室の壁やドアの中には鉛が使用されており、外部に放射線が漏れないように設計されています。

出典：放射線医学総合研究所調べによる

© JMNC



一般社団法人
柏歯科医師会

<http://kashiwa.cda.or.jp/>

Email : kda@kamukamu.or.jp

